



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

2015.1.31発行
社会福祉法人
志摩会
第46号

福岡県糸島市志摩久家2527番地の2
TEL092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
<http://www.shimaen.or.jp>

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン

配食サービス
志摩園支援センター
小規模多機能型居
宅介護



2015年1月1日 温明館（2階）

年神様が宿る餅を食べて、健康と幸多き
一年であることを願いつつ、
2015年元日の昼食はお雑煮を…

医療・介護制度大変革を

目前にした今

理事長 黒澤 明

2015年は雲と青空の「コントラスト」が美しい元旦となりました。このお便りが皆様のお手元に届く頃は、地上もモノクロの正月から、源氏物語に描写されるような、優雅に少々彩づき始めた新春かもしれません。

一方、私たち介護サービス事業者、社会福祉法人にとって師走からこの1月はいつも以上に気を抜けない毎日の連続です。

社会保障制度を維持するための大改革や社会福祉法人制度のそれと、大きな変化が待ち構えており、これらに対応していかなければなりません。

昨年6月18日に成立した、「地域医療・介護総合確保推進法」に基づく制度の実施も順次今年の4月からはじまります。その改定の影響は私たち事業者だけではなく、サービスのご利用者にも及ぶ内容になります。

社会保障制度の持続可能性、特に医療・介護分野について「2015年問題」「2025年問題」という切り口で語られることがあります。2011

5年は団塊世代が全員65歳以上に到達するときであり、その十年後の2025年は、後期高齢者（75歳以上）になる年であります。

ちなみに、団塊世代の方は、2009年時点で660万人余りで、わが国の人口構成の中で大きなボリュームを形成しております。団塊世代の高齢化で75歳以上の人口は、2025年に2179万人になる見込みです。

このことで何が懸念されるかというと、医療・介護サービスを利用する割合も高齢になる程大きくなり、それらの費用も急増することです。

2013年度の概算国民医療費の年齢別比較では75歳以上は一人当たり92万7千円で、74歳以下の4.5倍近くになります。

介護保険の要介護認定率も糸島市では前期高齢者（65歳以上74歳以下）と後期高齢者では、約十倍後期高齢者の方が高くなっています。

ポイントは「医療」と「介護」が一対的に改革されます。病院機能の再編を含む医療のあり方を変えていくことは、できる限り家に帰つてもらう入院日数の短縮化につながり、在宅で医療と介護のサービスを利用しながら、生活をする人が増えてくることになります。まさに「施設・病院」から「地域へ」、「医療」から「介

護」への流れが加速すると考えられます。
このように「2025年問題」に備えるため「地域包括ケアシステム」の構築を国家施策として急いでいます。

地域包括ケアの理念のひとつに、高齢者の「尊厳保持」があります。それは高齢者の自由と自立性を保障する価値と理解しています。



だからこそ、誰にも遠慮せず、本当に希望するところ、つまり自分の生き様も最期も自分で決めることができます。

介護制度は全国一律ではなく、より住民に身近な市町村がその地域の特性を踏まえて柔軟に地域全体で作つていく小地域ケアシステムの性格を強調しています。

糸島市の保健・福祉事業の一端を担わ

せていただく本法人としても、地域ぐるみのケアの実現を目指し、常に研さんを積んで役割・責任を果たして、お役にたてますように準備しているところですが、今は不安も大きく、めでたさも中位なりおらが春の心境です。



志摩地域包括支援センター運営受託のご報告

◆平成27(2015)年4月から、糸島市の地域包括支援センターが5ヶ所に増設されることになり、志摩地区は社会福祉法人志摩会に委託されることになりました。

【これまで】

市に1ヶ所、糸島市社会福祉協議会に委託され、この相談窓口機能を市内4つの社会福祉法人が担当していました



【2015年4月以降】

日常生活圏域※	担当小学校区	地域包括支援C
前原西	前原・南風・加布里	前原西地域包括支援センター
前原	前原南・長糸・雷山	前原地域包括支援センター
前原東	波多江・東風・怡土	前原東地域包括支援センター
二丈	一貴山・深江・福吉	二丈地域包括支援センター
志摩	可也・桜野・引津（含姫島）	志摩地域包括支援センター

※日常生活圏域とは…

おおむね30分以内に必要なサービスが提供される圏域

であり、糸島市は複数の小学校区単位にまとめ、弾力的に設定しています

◆地域包括支援センターの主な仕事

(1)総合相談支援業務	住民の介護保険制度に限らない、様々な生活相談全般を受付、支援を実施します	
(2)権利擁護業務	高齢者虐待の発見や対応、財産管理等を支援	
(3)介護予防マネジメント業務	軽度者のケアマネジメントを実施	
(4)包括的・継続的ケアマネジメント業務	ケアマネージャーへの支援や事業者の連携促進の支援	
(5)将来的に糸島市が実施する可能性がある地域支援事業への関与	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護連携 ・生活支援サービスの体制整備 ・認知症施策の推進（認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催 ・一般介護予防事業など
(6)広報活動	日常生活圏域毎の情報提供（住民への周知）	

◆志摩地域を担当させていただくにあたって

地域包括支援センターは平成18(2006)年の介護保険制度改定で新たに作られた、比較的新しい機関です。そのためか、センターの認知度は全国的には3割弱と低い状況ですが、糸島市においては約5割と良好な結果となっています。この9年間の関係者皆様の熱心な取組みの証しだと思います。

糸島市は地域包括ケアシステムの要となる地域包括支援センターの設置を社会福祉法人に任せる決断をしました。公益法人である私たちは、不特定多数の人の幸福の実現に向かうところに意義があります。

私たちはこのことを矜持として、今後も地域包括支援センターの運営に臨みますし、現在、市の事業方針に基づくセンターの事業計画等を策定中の段階です。

市民や関係者のみなさまに志摩地域包括支援センターをモニターしていただき、生産的なご意見を提言していただき、私たちも常に進化を遂げたいと思います。

志摩地域包括支援センターは、今年4月以降は特別養護老人ホーム志摩園内に設置する予定ですが、センターの体制等の詳細は後日お知らせします。難解な制度ですので職員も一緒に勉強しながら、もっとわかりやすく説明できるよう努めて参ります。

平成26年度第2回志摩園 入所検討委員会報告

【平成26年10月20日開催】



●全体概要

- 1 平成26年4月～9月までの志摩園に入所された方の人数** » **17名** (例年の同時期比較では今回は増加)
(入所申込から入所までの期間は平均1年4月)
- 2 志摩園入所申込受付状況** (平成26年度上半期の申込人数) » **38名** (前回は50名の受付)
- 3 入所申込辞退者数** » 今年前半、市内に2ヶ所の地域密着型特養の開設があり、入所された方を含め、17名の辞退あり

●入所待機者の属性の推移

1 性別 (人)

	H25.10	H26.4	H26.10
男性	60	53	53
女性	167	181	166
計	227	234	219

2 待機場所 (人)

	H25.10	H26.4	H26.10
自宅	68	68	51
医療機関	59	54	48
老人保健施設	67	78	76
グループホーム	11	11	15
軽費老人ホーム	2	1	1
養護老人ホーム	4	5	6
有料老人ホーム	12	12	12
特養老人ホーム	1	2	8
その他	3	3	2
計	227	234	219

3 要介護度 (人)

	H25.10	H26.4	H26.10
要介護5	33	29	27
要介護4	49	49	43
要介護3	59	53	48
要介護2	42	53	49
要介護1	44	50	52
平均	2.93	2.80	2.74

※軽度認定（要介護1, 2）の方が直近で46%を占めており、全国平均約31%、県平均36%に比べ多くなっています

4 介護保険者 (人)

	H25.10	H26.4	H26.10
糸島市	195	201	189
福岡市	21	20	18
その他	11	13	12
計	227	234	219

●特養入所要件の重点化

介護保険法の改定により、平成27年4月から特別養護老人ホームの入所要件が要介護3・4・5の認定者に限定されます。

但し、現在の入所者には要介護1、2であっても変更はありませんし、入所後に要介護度が要介護1、2に改善された場合も入所は継続できます。

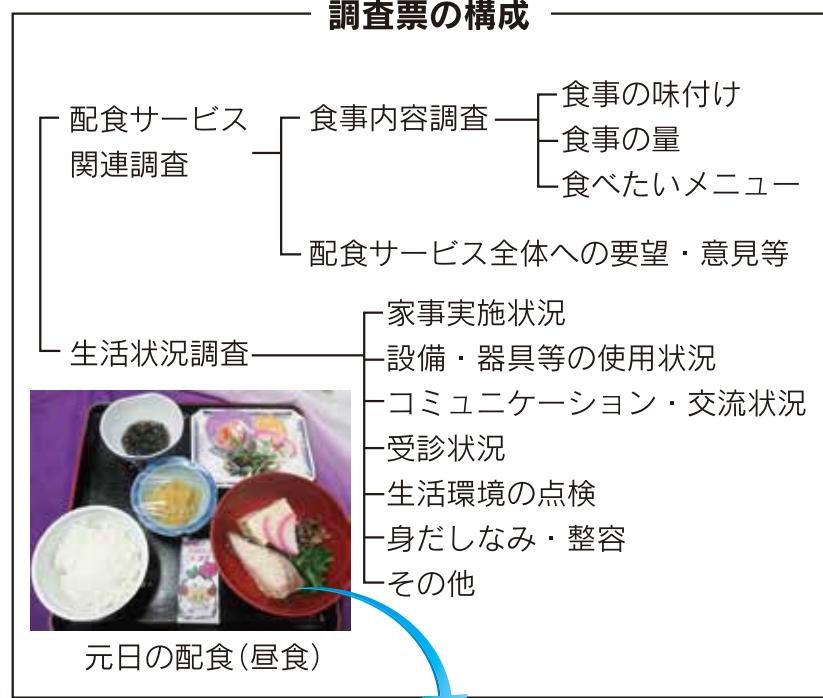
なお、軽度（要介護1、2）要介護者であっても特例的に特別養護老人ホームへの入所が認められる要件が設けられる見込みです。

今後の入所実務でも、新たな「福岡県指定介護老人福祉施設等入所指針」にもとづき、適正運用を図っていきます。

配食サービス面接調査結果の報告

～地域包括ケア開発室並せいかつ志縁隊合同企画～

糸島市から本法人が受託している志摩地域の配食サービスについて、平成26年8月～10月にかけて、ご利用者の協力のもと対面による質問形式で調査を行いました。



おつゆはお家に着いて。

◆配食情報

食事の種類

常食	37
糖尿病食	2
塩分コントロール食	11
計	50

うち、カリウム制限は
2名おられます

食事の形態

普通食	42
粗刻み食	5
刻み食	1
極刻み食	0
ソフト食	0
ミキサー食	2
計	50

主食の種類

ごはん	42
軟飯	5
粥	1
粥ミキサー	1
主食なし	1
計	50

主な課題

- 厳格な療養食管理が困難なケースがある
- 昼食と夕食の配食コース数の違いで昼食しか出せない、逆に夕食しか出せないメニューがある（現在はやや改善してきた）
- 温かい物がどうしても少し冷める
- 認知症のおありの方の場合、食器の紛失が発生しやすい

◆配食サービス事業の目的は「…日常生活の自立及び質の向上を図るとともに、その家族の身体的、精神的負担を軽減すること」であり、適切な食事の提供による日常生活の支援をします。もうひとつは、訪問時の安否確認も重要な目的となっています。

これらは志摩会だけの活動で成果をあげられるわけではありません。民生委員をはじめ地域のみなさんのご支援やご協力があるからです。

今回の面接調査と今後の行政の日常生活圏域ニーズ調査で質と量の両面からニーズの傾向を見究め、配食サービスの更なる質的向上はもちろん、多様な課題の把握と個人的要因と環境要因別に充足手段を検討する視点をもてました。



志摩園ふるさとドライブ リポート

11月4日、穏やかな秋晴れのもと、3名の入所者の皆さんと姫島に行ってきました。3名とも姫島のご出身で久しぶりの帰島とあって、 ➡



懐かしい我が家に戻り、馴染みの方々に再会できて、とても喜ばれていました。
やはり、ふるさとは安心できる場所ですね。



志摩園では“ふるさとドライブ”と銘打って、特別養護老人ホームに入所された後もご家族や地域との交流やご本人の＜戻ってみたい＞というストレートな希望に応えるために活動しています。レクレーションとしての外出行事と違うところは、お一人毎の固有の希望に応えること、それはお墓参りであったり、同窓会参加であったり、ひ孫さんに会いに行ったり…、日常生活の中で当たり前のことが老人ホームでも当たり前に継続する支援を志摩園職員は考えています。

時には、状態を見ながらですが看取りケア中の方をご自宅にお連れすることもあります。受入に協力して下さるご家族から“こんなことまでしてもらえるのですか”と感謝されます。

そして、ご本人は自宅に戻っていることを確かにわかってくれます。その表情やしぐさから、そして言葉として私たちに伝えてくれるのです。ご家族、ご本人、スタッフの気持ちが昇華して、一つになる時です。

行事のご紹介



11/1引津校区文化祭出展・見学



たまり場の皆さんの作品

11/15たからんたま収穫祭



同上

12/13浦島タロウ劇のお披露目



12/22福岡雙葉学園様来園

連載
企画

いろんな職種から見た 介護の仕事

(第4回)

職員リレー



志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

私の人生の半分が志摩園とともにあります



小金丸 由美子
(特養 看護師)

◆志摩会に勤務しておよそ29年です。措置制度の時代から介護保険制度に変わった今日

まで様々な経験をしました。

◆仕事が上手くいかず涙したこと、皆でよく笑い、職員旅行に行ったこと、子育ての最中は家族で旅行することは難しいだけに職場の旅行はとても楽しい思い出です。

◆通信教育で正看護師免許を取得しました。仕事と学校の両立は大変でしたが、職場の協力が得られてこそその目標達成です。

◆ステップアップの行動は早い方が良いと思います。年齢は関係ないですがやはり、覚えが低下する分、若い人の何倍も勉強しました。

それを克服して、正解を出した時、試験に合格した時の達成感にとても満足した同時に嬉しかったです。

◆あと数年で定年年齢に達しますが、まだまだ頑張ります。

毎日全力投球の1児の母です



今西 玲子
(特養 管理栄養士)

からのアドバイスもいただき復帰を決意しました。

志摩園は、[子育て支援制度]が充実して、そのうえ職員みなさん、家族の協力もあって楽しく働いています。

◆老人ホームの栄養・給食のほか、配食サービスにも関り、自宅訪問、栄養相談、料理教室等もしています。そのなかで感じることは、在宅高齢者の皆さんのがんばり食生活にも解決し

たい課題がいくつもあることです。もっと勉強して、若い栄養士たちと一緒に一番身近な“食”をとおして地域貢献ができれば!!。

◆子供が寝静まり、家事が終われば さあ私の時間! カフェを用意し、録画のサスペンスを見ながら、手芸と編物で…至福の夜は更けて行きます。

しまえんの “サイトウ カズミ”と言われます! なにか?



中山 純一
(特養 介護福祉士)

ンを多くと心掛けています。介護の仕事は、単にお世話することだけでなく、いつもとの違いに早く気づくこと、そしてその方に合ったサービスを提供するため他職種との連携が重要です。

◆入園者から「あら、今日あなた出勤されていたのね、嬉しいわ」とお声をかけて下さると仕事が行詰っている時など癒さ

れ、励みになります。

◆趣味はサーフィン。10年前からやっています。よく行くスポットは二丈の串崎のビーチ。年に1回は宮崎県の小倉ヶ浜にも。介護の仕事は体力も必要なのでスポーツでの体作りも意識しています(笑)

◆これからも職員や入園者の皆さんから、信頼され、安心をお届けします。

◆志摩会の勤務7年目です。青海館2階のグループリーダーをしており、日々、入園者の方の状態把握やコミュニケーション

Thanks !

12月13日 パナソニックシステム
ネットワークス労組(PSNU)福岡支部の皆様



2時間で八臼の餅つき



手際の良い餅もみ



労組結成45周年
記念に歩行器と
加湿器のご寄附
を頂戴しました



39年目の志摩園訪問を予定通りお迎えすることができ、心から感謝しています。このような息の長い社会貢献活動を私たちはお手本とし、また心の支えとして、志摩園も一層の地域貢献に取組んでいきます。

【編集後記】 娘婿の海外赴任がついに決まり、東京の借家を引き払い、彼の現地の仕事や家族の受入準備が整うまで、娘親子は我が家で過ごしてくれました。大学生の二女もちょうど夏休みの帰省中で家中は久しぶりに大変賑やかでした。

4～5年の海外勤務の予定とあって、今を逃すわけにはいかず、ここぞとばかり10月下旬までの約2ヶ月、週末や休日のたんびのおでかけは、いつも天気にも恵まれました。

この時期も何かと仕事は混んでいて、普段であれば私は土、日、祝日も仕事をしていたはず。なのに、孫娘たちと一緒に過ごす時間をとっても、仕事はさばけていきました。一体これは？。「時間」、とても大事な仕事の要素ですが、気になることや心配なことはあっても、2～3日間一切考えないと自分で決めて、家族と過ごす貴重な時間を得ました（職員みんなのおかげでもあることは間違いないかもしれません）。

さて、孫娘、1歳7月から9月の頃を一緒に過ごしたわけですが、この2ヶ月間の成長を目の当たりにして、驚きと楽しみの毎日でした。4年後どこまで大きくなっているのかわくわくします。

トルコの人はとても子供好きとよく聞きますが、実際はどうなのか、娘に尋ねると…本当のようです。

例えば…娘家族がイスタンブールの街中を歩いているとよく話しかけられるのは茶飯事で、日本にもある100円で動く乗り物に孫がただ乗って遊んでいると（実際に動き出すと孫はこわがります）、お店の人がわざわざお金を入れて動かしてくれたり、レストランでは店員さんが孫をだっこして他のテーブルのお客さんに見せていくと、そのお客様が料理を食べさせようしたり、ある時はおばさまがホッペにチューしてきたり…エピソードは事欠かないようです。孫娘も泣きもせず、手を振って愛想を振りまいっている様子で…。

メールで送られてくるイスタンブールのふつうの街中の写真からも、“いいまち”を感じます。行ってみたくなりました…。

Info

平成26年度ケアマネジャー試験

合格体験記

平成26年12月10日、第17回ケアマネ試験の合格発表。今年、栄冠を手にした職員のご紹介です。



柴田美穂
(特養 生活相談員)

社会福祉士は学生時代に、介護福祉士は志摩園入職後に実務経験をクリアして取得。仕事をしながらの受験勉強は学生時代以上に大変でした。ケアマネジャー資格はもっと仕事の幅も、自分の可能性も広げたいと思って挑戦しました。そのタイミングが“今”でした。「あなたがいてくれてよかったです」と言われるようなケアマネになりたい。